月　日　名前　　／50点

【答え】

【中2】国語 文章テスト　説明文 1/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「聞き上手」と聞くと、多くの人は、自分はあまり話さずに、相手の話をだまって聞いている人を思いうかべるだろう。しかし、実際に話していて楽しい聞き手は、ただだまっているわけではない。

たとえば、友だちが旅行の話をしているとしよう。聞き手が何も言わずにうなずくだけだと、話し手は、自分の話がつまらないのではないかと不安になる。反対に、「それで、どうなったの」と先をうながしたり、「そこがいちばん楽しかったんだね」と相手の気持ちを言葉にしたりすると、話し手は安心して話を続けられる。聞き上手とは、話を受け止めていることを、相手に伝えるのがうまい人なのだ。

聞き上手がよく使うのは、答えが一言で終わらない質問である。「楽しかった？」と聞けば、「うん」で話は終わってしまう。けれども「何がいちばん楽しかった？」と聞けば、相手は思い出しながら言葉を探す。質問の形ひとつで、相手が話せることの量が変わるのである。

もう一つ大切なのは、自分の話にすりかえないことだ。「ぼくも前に行ったよ。そのときは……」と話し始めると、話の中心は聞き手に移ってしまう。自分の経験は、相手が話し終えてから、相手の話を広げるために使えばよい。

聞くことは、ただ受け身で音を耳に入れることではない。相手が話しやすいように言葉をかけ、相手の中にある思いを引き出していく、はたらきかける行いである。聞き上手とは、話す力を相手の話のために使える人のことなのだ。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　筆者は、第二段落で、聞き上手とはどんな人だと述べていますか。「～人」につながるように、本文中から二十五字以内で抜き出しなさい。

話	を	受	け	止	め	て	い	る	こ	と	を	、	相	手	に	伝	え	る	の
が	う	ま	い																

問二（十点）　筆者が「何がいちばん楽しかった？」という質問をよいと考えるのはなぜですか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　相手が「うん」と短く答えられるので、話がすぐにまとまるから。

イ　答えが一言で終わらず、相手が思い出しながら言葉を探すことになるから。

ウ　聞き手が、自分の旅行の話を始めるきっかけになるから。

エ　相手の答えが正しいかどうかを確かめられるから。

イ

問三（十点）　「自分の話にすりかえない」とありますが、すりかえると何が起こると筆者は述べていますか。本文中から十五字以内で抜き出しなさい。

話	の	中	心	は	聞	き	手	に	移	っ	て	し	ま	う

問四（十点）　筆者は、聞くことを、ただの「受け身」ではなく、どんな行いだと考えていますか。本文の言葉を使って、四十五字以内で説明しなさい。

相	手	が	話	し	や	す	い	よ	う	に	言	葉	を	か	け	、	思	い	を
引	き	出	し	て	い	く	、	は	た	ら	き	か	け	る	行	い	。		

問五（十点）　本文の内容に合うものとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　聞き上手になるには、自分の意見をはっきり言うことが一番大切だ。

イ　聞き上手とは、話す力を相手の話のために使える人である。

ウ　聞き手は、相手の話が終わっても、自分の経験を話してはいけない。

エ　うなずくだけの聞き手が、話し手をいちばん安心させる。

イ

月　日　名前

／50点

合計　／100点【答え】

【中2】国語 文章テスト　物語文 2/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日曜日の朝、妹の真奈が自転車の練習をすると言い出した。補助輪を外したばかりの赤い自転車は、真奈には少し大きく見えた。父は仕事だったので、私が付き合うことになった。

公園の広場で、私は荷台をつかんで後ろを走った。真奈がペダルをこぐと、自転車は右へ左へとふらついた。「放さないでね、絶対に放さないでね。」真奈は前を見たまま、何度も言った。

一時間たっても、真奈は一人では乗れなかった。私の腕はしびれ、息も切れてきた。「もう、今日はやめよう。」私がそう言うと、真奈は自転車を地面に倒して、泣きそうな顔になった。

「お姉ちゃんは、すぐ乗れたんでしょ。」

私は答えにつまった。私が自転車に乗れるようになったのは、真奈より二つも上の年だった。その間、何度も転んで、ひざにはまだ小さな傷あとが残っている。そのことを、真奈は知らない。

「すぐなんかじゃないよ。」私はひざを見せた。「これ、自転車で転んだあと。」

真奈は目を丸くして、傷あとをのぞきこんだ。それから、黙って自転車を起こした。

もう一度、私は荷台をつかんで走った。真奈のこぐ足に、さっきまでなかった力が入っていた。ふらつきが少しずつ小さくなる。私は、そっと手を放した。真奈は気づかずに、前を向いてこぎ続けた。自転車はふらふらしながらも、広場の向こうまで進んで、ようやく止まった。

「放さないでって言ったのに。」

振り返った真奈は、怒った声で言った。でも、その顔は笑っていた。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　練習中、真奈が前を見たまま何度も言った言葉を、本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

放	さ	な	い	で	ね	、	絶	対	に	放	さ	な	い	で	ね				

問二（十点）　「私は答えにつまった」とありますが、その理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　本当のことを言うと、真奈がもっと落ちこむと思ったから。

イ　真奈は私がすぐ乗れたと思っているが、実際は何度も転んで、長くかかったから。

ウ　自分がいつ自転車に乗れるようになったか、覚えていなかったから。

エ　真奈が泣き出したので、何を言えばよいか分からなくなったから。

イ

問三（十点）　真奈が「黙って自転車を起こした」のはなぜだと考えられますか。姉の話にふれて、四十字以内で説明しなさい。

姉	も	何	度	も	転	ん	で	乗	れ	る	よ	う	に	な	っ	た	と	知	り
、	自	分	も	も	う	一	度	が	ん	ば	ろ	う	と	思	っ	た	か	ら	。

問四（十点）　姉の話を聞いたあと、真奈の様子はどう変わりましたか。「真奈のこぐ足に」に続く部分を、本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

さ	っ	き	ま	で	な	か	っ	た	力	が	入	っ	て	い	た				

問五（十点）　最後の場面の真奈の気持ちとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　姉が約束を破ったことを、本気で怒っている。

イ　一人で乗れたうれしさを、照れかくしに怒った言い方で表している。

ウ　転ばなかったことに、ただ安心している。

エ　もう自転車には乗りたくないと思っている。

イ

【中2】国語 文章テスト（100点）　説明文 1/2　答えと解説（1問の配点は問題の半分）

問一（十点）　答え：話を受け止めていることを、相手に伝えるのがうまい

解説：第二段落の最後の一文が根拠。うなずくだけの聞き手と、言葉をかける聞き手を比べたうえで、筆者がまとめている。

問二（十点）　答え：イ

解説：第三段落が根拠。「楽しかった？」は一言で終わるが、「何が」と聞けば相手が言葉を探す。アは「楽しかった？」のほうの説明。ウは第四段落で筆者がすすめないこと。

問三（十点）　答え：話の中心は聞き手に移ってしまう

解説：第四段落の「話の中心は聞き手に移ってしまう」が根拠。自分の経験は、相手が話し終えてから使えばよい、と筆者は続けている。

問四（十点）　答えの例：相手が話しやすいように言葉をかけ、思いを引き出していく、はたらきかける行い。

解説：最後の段落の「相手が話しやすいように言葉をかけ、相手の中にある思いを引き出していく、はたらきかける行いである」が根拠。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①相手が話しやすいように言葉をかける

②相手の思いを引き出す（はたらきかける行い）

問五（十点）　答え：イ

解説：最後の一文が根拠。ウは「相手が話し終えてから～使えばよい」と合わない。エは第二段落と逆（うなずくだけだと不安になる）。

【中2】国語 文章テスト（100点）　物語文 2/2　答えと解説（1問の配点は問題の半分）

問一（十点）　答え：放さないでね、絶対に放さないでね

解説：第二段落が根拠。最後の場面の「放さないでって言ったのに」は、この言葉を受けている。

問二（十点）　答え：イ

解説：直後の「私が自転車に乗れるようになったのは、真奈より二つも上の年だった」「そのことを、真奈は知らない」が根拠。真奈の思いこみと事実が食い違っていた。

問三（十点）　答えの例：姉も何度も転んで乗れるようになったと知り、自分ももう一度がんばろうと思ったから。

解説：真奈は「お姉ちゃんは、すぐ乗れた」と思いこみ、自分だけができないと感じていた。ひざの傷あとを見て、姉も同じように苦労したと知ったことが、もう一度やる気持ちにつながった。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①姉も何度も転んで乗れるようになったと知った

②自分ももう一度がんばろうと思った

問四（十点）　答え：さっきまでなかった力が入っていた

解説：第八段落が根拠。気持ちの変化が、こぐ足の力という体の様子で表されている。

問五（十点）　答え：イ

解説：「怒った声で言った。でも、その顔は笑っていた」が根拠。言葉と表情が食い違うことで、うれしさと照れが同時に表されている。